

「記念碑に見る北海道農業の軌跡」 発刊のご紹介

(財)北農会・農業技術コンサルティングセンター

代表幹事 富田義昭

北海道は開拓されて百四十年になる。開拓当初北海道に移住した人達が府県から作物が持ち込まれ、開拓使などにより外国から作物・品種の導入、新しい家畜飼養も行われた。これらは先人達の努力で改良・定着し、さらに加工工場、土地改良などの技術や施設も導入され、府県とは異なる「北海道農業」が、短期間に発展した。

道内各地には先人達の苦労や功績を後世に伝える「農業遺産」として、「発祥の地」や「ゆかりの地」などの「記念碑」「顕彰碑」などが多数建立されているが、どの程度知られているだろうか。関心が薄く見たことが無い方が多いと思われる。

私は地域農業研究所を退任してから、道内の試験場、普及組織、農業団体等の農業技術者OBを主体にした組織を立ち上げ、活動を行っているが、事業の一環として、道内の記念碑などを三年越しに調べ、編集委員会や刊行協力会（研究所の藤田理事長や太田原所長などがメンバー）の支援を受け、(社)札幌農学振興会の出版助成を得て、このほど「記念碑に見る北海道農業の軌跡」として発刊した。

内容は、①稲作編、②畑作・園芸・特用作物編、③酪農・畜産編、④加

工工場編、⑤土地改良編、⑥その他編（農民運動、小作争議・農場解放、農業災害）として、一五一件（碑の数二六〇基）の碑を掲載し、A5判、三二〇頁、写真と地図などカラー印刷、ハードカバー、上製本装丁の書籍である。

農業が軽視される世相であるが、北海道農業の原点を知り、食料確保と安定供給の重要性を再認識し、地域農業活性化や応援のため、先人が残した貴重な「農業遺産」について、一読をしていただき、碑を訪ねることで、新しい発見と意義があると思いたい。



頒布価格：一冊 2,500円(税込・送料別)

編集：「記念碑に見る北海道農業の軌跡」刊行協力会

監修：(財)北農会・農業技術コンサルティングセンター

発行・販売：(株)北海道協同組合通信社

TEL 011(209)1003・FAX 011(209)0534



研究会・研修会等への
報告者・講師の派遣
(平成二十年一月～三月)

○「村づくり・人づくり報徳冬季
研修会」
主催 (財)北海道報徳社
とき 平成20年1月11日
テーマ 元気な地域を創り・支
える人々
講演 黒澤不二男
(当研究所・常務)

○「サービズ経済論」
主催 札幌大学
とき 平成20年1月15日
テーマ 農協の仕組みと制度
講義 奈良 孝一
(当研究所・研究部長)

○「平成19年度新規就農者研修」
主催 (財)北海道農業協同組
合学校
とき 平成20年1月17、23日
テーマ コミュニケーション力
を高める方法
講義 黒澤不二男
(当研究所・常務)

○「北海道を元気にする会例会」
主催 北海道を元気にする会
とき 平成20年1月24日
テーマ 北海道農業の危機と道
民合意の形成
講演 太田原高昭
(当研究所・所長)

○「中央アジア地域開発セミ
ナー」
主催 (独法)国際協力機構
とき 平成20年1月28日
テーマ 農協の仕組みと制度
講義 奈良 孝一
(当研究所・研究部長)

○「平成19年度ふるさと・水と土
指導員研修会」
主催 北海道農政部長農村振興
局農村整備課
とき 平成20年1月30日
テーマ 地域資源発掘の必要性
とその手順
講演 黒澤不二男
(当研究所・常務)

○「第50回全国家の光大会」
主催 家の光協会
とき 平成20年2月5日
テーマ 体験発表審査講評
講演 太田原高昭
(当研究所・所長)

○「ニューリーダー養成研修」
主催 北海道立農業大学校
とき 平成20年2月5日
テーマ 経営計画策定の重要性
講義 奈良 孝一
(当研究所・研究部長)

○「平成19年度日高支庁管内指導
農業士・農業士研修会」
主催 北海道日高支庁
とき 平成20年2月7日
テーマ 地域営農システムと日
高農業の展望
講演 井上 誠司
(当研究所・主任研究員)

○「平成19年度農業経営改善研修
会」
主催 旭川市
とき 平成20年2月8日
テーマ 経営分析に取り組もう
―青色申告書を活用して
講演 奈良 孝一
(当研究所・研究部長)

○「コープさっぽろ農業賞フォー
ラム」
主催 生活協同組合コープ

○「平成19年度十勝中央地区農業
士・指導農業士研修会」
主催 十勝中央地区農業士・
指導農業士会
とき 平成20年2月28日
テーマ 近年の情勢変化の中で
十勝農業を考える
講演 黒澤不二男
(当研究所・常務)

○「地域農業振興研修会」
主催 厚沢部町
とき 平成20年3月1日
テーマ 厚沢部町農業の展望に
ついて
講演 太田原高昭
(当研究所・所長)

○「平成19年度土地連石狩支部役
職員研修会」
主催 土地連石狩支部
とき 平成20年3月3日
テーマ 道央部農業の展開方向
と課題
講演 黒澤不二男
(当研究所・常務)

DATA FILE

関連事項/ DATA

日本銀行札幌支店
〒060-0001
札幌市中央区北1条西6丁目1-1
☎ 011(241)5235(代)
FAX 011(218)2387

(有)ファーム花茶
〒066-0004
千歳市泉郷479番地
☎ 0123-29-2888
FAX 0123-29-2888

福島大学
〒960-1296
福島市金谷川1番地
☎ 024(548)8006(代)
FAX 024(548)3180

(社)北海道地域農業研究所
〒060-0004
札幌市中央区北4条西7丁目1
☎ 011(281)2566
FAX 011(281)2707
HP: <http://www.chiikinouken.or.jp>

▼編集後記

●最近の内閣府の「社会意識に関する世論調査」によると、日本の状況については「悪い方向に向かっている」と思われる分野のトツプ3は、景気・物価・食糧。

特に、食糧問題は四年前の三倍に跳ね上がっている、あいまい

だ食品偽装・中国産冷凍食品事格の高騰によるもの。国民にとって改めるとは、農業を見直す時が来たのではないだろうか、安全・安心な農畜産物生産を目指す北海道農業にとつて攻めの一年になつてほしい。

●当研究所では新年度を迎え、永年にわたり研究業務に携わつてきた奈良研究部長・斉藤特別研究員が退職し、新たに黒河北大名誉教授を特別参加に迎えた。従前に増して農業・農村の発展を支援する役割を積極的に果たしてまいります。(佐々木正幸)

○「北海道先進農業者協議会平成19年度研修会」
主催 北海道先進農業者協議会
とき 平成20年3月7日
テーマ バイオエタノール等をめぐる最近の情勢
話題提供 黒澤不二男
(当研究所・常務)

○「ホクレン『改良普及員資格取得者』フオロアアップ研修会」
主催 ホクレン農業協同組合連合会
とき 平成20年3月18日
テーマ 農協系統組織の営農指導について
黒澤不二男
(当研究所・常務)

○「平成19年度コントラクター活動支援事業成果報告会」
主催 北海道農政部農業経営局経営体育成グループ
とき 平成20年3月18日
テーマ 地域農業支援システムの実態調査から事例紹介
井上 誠司
(当研究所・主任研究員)

○「平成19年度ながぬま農業協同組合営農集団協議会通常総会」
主催 ながぬま農業協同組合営農集団協議会
とき 平成20年3月24日
テーマ 長沼町農業の担い手像―営農集団と農地流動化に注目して―

講 演 糸山 健介
(当研究所・専任研究員)

○「平成19年度和寒町営農推進協議会研修会」
主催 和寒町
とき 平成20年3月26日
テーマ 農産物付加価値向上へのチャレンジ
黒澤不二男
(当研究所・常務)

講 演 旭川市
終了式

○「平成19年度旭川市民農業大学」
主催 旭川市
とき 平成20年3月30日
テーマ 食料自給率と市民生活
太田原高昭
(当研究所・所長)

人事異動

新任	特別参与	黒河 功(4月1日)
	研究部長	和田 好充(4月1日)
	研究部次長	中山 忠彦(4月1日)
	特別研究員	上宗 辰美(2月1日)
退職	研究部長	奈良 孝一(3月31日)
	特別研究員	斉藤 勝雄(3月31日)